

山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL0820-79-1133

第9号
平成23年5月

地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。
地震発生の瞬間とその直後にとるべき行動は、皆さんの身の安全にも影響します。

日頃から、地震に対する心構えを持てるように努力しましょう。

揺れた時の6つの心得(地震)

大きく揺れた瞬間

1 自分の身を守る

地震時には身を守ることが最優先です。

大きな揺れの際は家具が転倒し、物が落下します。

丈夫なテーブルや机の下に身を伏せましょう。近くに机などがない場合は座布団やクッションなどで頭を保護し、揺れがおさまるのを待ちます。



地震時及び地震の直後(1)

2 すばやく消火

予想外の大きな揺れで立ってられないような場合は、まず身の安全を確保し、揺れがおさまったら消火を行いましょう。

消火のチャンスは3回あるので、火を使用していたら、消しましょう。

①地震の揺れ始めには、身の安全を確保するのが最優先です。

余裕のある場合は、使っていた火の始末をしましょう。

②次のチャンスは揺れがおさまった時です。台所のガスやストーブなどを素早く消しましょう。

③それでも間に合わなかったり、気がつかなかったりして出火した時には、

落ち着いて水をかけたり、消火器などを使って消火しましょう。



地震時及び地震の直後(2)

3 落ち着いて行動する

屋内は転倒・落下した物や割れた窓ガラスの破片などが散乱し、大変危険です。最初の揺れでは倒れなくても、余震で倒れる物もあります。靴やスリッパなどを履き、落ち着いて行動しましょう。



地震時及び地震の直後（3）

4 出口の確保



揺れがおさまったら玄関や窓を開け、避難用の出口を確保します。揺れで家がゆがみ、玄関の戸が開かなくなることもあります。バールや斧などを常備しておくのも対策のひとつです。

地震時及び地震の直後（4）

5 あわてて外に出ない



地震が来たからといって、あわてて屋外に飛び出すのは危険です。上から屋根瓦や窓ガラスの破片、看板などが落下し、直撃するおそれがあります。

地震時及び地震の直後（5）

6 門や塀に近付かない



屋外で揺れを感じたら、ブロック塀や門柱が転倒する危険があります。すぐに離れましょう。また余震で倒れる恐れもあるので、一度揺れがおさまっても、塀には近づかないようにしましょう。

（岩尾悟志『地震防災ハンドブック』新装改訂版、2009年、8頁～11頁より引用）

来館者紹介



3月、4月 見学団体
周防大島高校(久賀)
下松市花岡地区民生委員
の方々が来館されました。



次号は、風水害などについて記載したいと思います。
引き続きよろしくお願いいたします。